

生田の風

川崎市立生田中学校
学校だより 第322号
令和7年1月16日



新しい年を迎えて

校長 秋山 香志

新しい年、令和8年を迎えました。1月7日より授業を再開いたしました。

冬季休業前の全校集会では、「新しい年を迎えるという、節目を意識することはとても大切なこと。冬休み中に、新しい年の抱負を考えることも、新年の節目を意識するよい機会となる。」と話をしました。

また、冬季休業明けの全校集会では、「令和7年度としてはあと3カ月。今年度のまとめとして、また、4月からの新たなスタートに向けての準備期間として、1つ1つを大切にしながら活動してほしい。」と伝えました。

この3カ月間も、生徒の学校生活をあらためて見守り続けたいと思います。

さて、12月に「よりよい学校づくりのために」のアンケートを生徒および保護者の方に実施いたしました。後日、アンケート結果をまとめたものを配付する予定です。

よりよい学校づくりのために、アンケート結果やご意見をもとに、現在、来年度の学校年間計画や教育課程にかかわる見直しをすすめております。

新たな成長の年となるよう引き続き教職員一同尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域で育ち、地域でつながり、共に地域をつくる

12月9日(火)には地域の皆さんと語り合おうの会、18日(水)には小中交流体験、1月10日(土)には初釜の会が行われました。どの行事も、同じ生田地区で生活する方々とのつながりを大切に、継続している活動です。

〈地域の皆さんと語り合おうの会〉

生田地区に縁のある39名の方々が来校し、講師として生徒たちと共に語り合いました。「生田地区の歴史」や「SDGs」をテーマに、自分たちが暮らしている地域について世代を超えて交流をする有意義な時間となりました。

〈小中交流体験〉

生田・三田・東生田の三小学校の6年生が、授業と部活動の体験をしました。少し緊張した様子の6年生でしたが、中学生が企画したオープニングステージに一気に和やかなムードになり、期待に胸を膨らませながら授業や部活動に参加する姿が見られました。

〈初釜の会〉

この会は、NPO法人 秋桜舎 コスモスの家主催、生田中学校共催による、世代を超えて地域の皆さんが新年のひとときを共に過ごすものです。生田中学校からは、生徒会本部役員や家庭科部の有志生徒が参加し、創作活動センターの和室にてお茶や百人一首、手芸を楽しみました。